

外国人集住都市会議

1. 設立趣意

外国人住民に係る施策や活動に取り組む都市の行政並びに同地域の国際交流協会をもって構成し、外国人住民に係わる施策や活動状況に関する情報交換を行うなかで、地域で顕在化しつつある様々な問題の解決に積極的に取り組んでいくことを目的として設立するものである。

また、外国人住民に係わる諸課題は広域かつ多岐にわたるとともに、就労、教育、社会保障など、法律や制度に起因するものも多いことから、必要に応じて首長会議を開催し、国・県及び関係機関への提言や連携した取り組みを検討していく。

こうした諸活動を通して、分権時代の新しい都市間連携を構築し、今後のわが国の諸都市における国際化に必要な外国人住民との地域共生の確立を目指していく。

＊平成13年5月7日に開催された会議において設立趣意を了承し、設立を決定

2. 参加都市

- ① 群馬・静岡ブロック：群馬県太田市、大泉町、静岡県浜松市
- ② 長野・愛知ブロック：長野県上田市、飯田市、愛知県豊橋市、豊田市、小牧市
- ③ 三重・岡山ブロック：三重県津市、四日市市、鈴鹿市、亀山市、岡山県総社市
(合計13都市)

＊令和3年度はオブザーバーとして群馬県伊勢崎市が参加

＊網掛けは、設立当初から参加している都市

＊平成24年度(2012年)には、最多数29都市が参加。

3. 座長都市

上記3つの地域ブロックの中から座長地域ブロックを選任し、任期は1年とする。
なお、座長地域ブロックは上記順に持ち回りとする。

座長都市は、座長地域ブロック内の互選により選任する。

(外国人集住都市会議運営要領より抜粋)

＊昨年度、本市は座長都市であり、規定により任期は1年のところ、新型コロナウイルス感染症の影響から会議が中止となったため、会員都市内で協議の結果、1年持ち越しとなった。

＊来年度は、①群馬・静岡ブロックの大泉町が座長都市となり、大泉町において開催を予定。